

様式第9号（第10条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和7年度 寄附金活用実績報告書

事業の区分 (該当へ☑してください)	☐ 団体支援型 ☒ テーマ指定型 ☐ 自由提案型
実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
寄附活用実績額等	寄附目標額： 153,410,000 円（企業版を除く） 寄附実績額： 15,887,433 円 R7.2～3月分：383,000 円 R7.4～R8.1月分：15,504,433 円 事業費： 770,446,706 円 自己負担額： 756,466,706 円
事業内容	訓練等を通じて災害即応体制を維持・強化するとともに、国内外で災害が発生した際には、医療・レスキューチームを迅速に被災地に派遣し、支援活動に従事した。本年度は、モザンビークサイクロン、ロスアンゼルス山火事、大船渡市大規模林野火災、韓国山火事、ミャンマー地震、台湾台風18号洪水、セブ島地震、静岡県台風15号竜巻、大分市佐賀関大規模火災、スリランカサイクロン洪水、青森県東方沖地震の国内4件、海外7件の災害出動実績となった。また、PWJ所属の医師1名・看護師8名が、神石高原町立病院や町内のクリニック等に定期的な応援に出向いたほか、地域医療や防災に関する講演へ積極的に参加した。
実施事業の成果・効果	・神石高原町内の病院・診療所での医療支援が定着、認知症カフェなどの地域活動にも協力し、地域に根差した医療に継続的に貢献できた。 ・神石高原町役場と地域の医療や防災についての意見交換、提言を行うなど、地域が災害に強い町となるよう、基盤づくりのきっかけに関わった。今後も引き続き連携し体制整備をサポートしていく。 ・外部組織との合同訓練を含む継続的な訓練と、ロスター登録制度の拡充により、災害時に迅速に支援チームを派遣する体制を整えることができた。国内はもとより海外の災害でも発災直後からチーム一丸となって活動し、現地調査、医療支援、避難所支援、物資支援、行政サポートなどを行うことができた。

様式第 1 0 号（第 1 0 条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和 7 年度 収支決算書

事業の区分		☐ 団体支援型 ☒ テーマ指定型 ☐ 自由提案型	
事業名		ARROWS（災害緊急支援×地域医療）事業	
項目		金額（円）	内容・内訳計算（単価×数量）
収入	交付金交付申請額	13,980,000	ふるさと納税による町への寄付金の 88%
	企業版ふるさと納税交付金	26,700,000	
	民間助成金・補助金	36,724,493	
	寄附金等	670,257,151	
	その他	22,785,062	
	前年度繰越金		
	収入計	770,446,706	
支出	人件費	166,208,168	
	直接事業費	13,088,145	救助・捜索、医療、生活用品配布、コミュニティ強化等
	使用料・賃借料	1,729,450	地代家賃、会場費
	事務所維持費	108,448,702	水道光熱費、事務所維持費、その他維持費、修繕費
	物品購入費	11,978,509	事務用品・備品・消耗品購入費
	旅費交通費	37,168,899	国内外旅費、車両維持費、車両レンタル代
	通信・運搬費	13,892,972	
	ふるさと納税返礼品関連支出	638,441	返礼品の購入費
	報酬・外注費	100,163,381	業務委託費等
	その他事務管理費用	296,372,321	保険料、研修費、広報啓発費、コピー印刷代、諸会費、リース料、燃料費（備蓄燃料）、租税公課等
	固定資産購入支出	20,757,718	車両等購入費
	一般管理費	0	指定寄付金等の 25%を上限とした一般管理費
	次年度繰越金	0	
	支出計	770,446,706	

※2025 年 2 月－2026 年 1 月の会計年度の決算に基づく実績値。